



身近なお困り事の解決に向けて現地調査



7月末日までに
約 8000通



横断歩道を取り付けて

旭区・左近山団地では、コンビニを利用するために、幹線道路を横断する人が多くて危険です。横断歩道や信号機を設置してほしいという要望について、かわじ民夫前市議会議員が現地調査。道路を横断する人が絶えず、人にも車にも危ないことがわかりました。

無料法律相談

要予約

市政、法律、交通事故、年金、金融、土地、住宅、教育、その他

とき 毎週水曜日午後1時30分～3時

ところ 横浜市役所内 日本共産党議員控室

TEL 045 (671) 3032

◎相談は同一案件につき3回までです。
なお8月はお休みさせていただきます。



新・区役所への交通の便を確保して

2016年に完成する新しい南区役所への交通の便が心配されています。あらき由美子議員は、六ッ川台党後援会会長と一緒に六ッ川・大池連合町内会の各町内会・自治会会長を訪問し、交通の便確保の実現に向けての協力をお願いしました。



車いすが歩道に上がれるように

港南区上永谷4丁目、環状2号線柳橋付近をみわ智恵美党港南区委員長が調査。右側の遊歩道から車道を横切り反対側の遊歩道に行く場合、縁石が高くて車いすが上がれません。縁石を切り下げるよう港南土木事務所に改善を求めました。



戸塚区役所に要望書提出

岩崎ひろし議員は地域のみなさんの協力を得て、市民アンケートに寄せられた地域要望を調査してまとめ、戸塚区役所に提出しました。



日本共産党横浜市議団が5月から取り組んでいる市民アンケートに、多くの要望が寄せられています。

3000通までの集計結果では、安心・安全のまちづくりについての要望で歩道や生活道路の整備、街灯・防犯灯、災害時の避難所整備が多くなっています。地域で改善してほしいことの自由記述欄に4割近くが記述し、地図入りも1割以上です。

党市議団は、党区委員会の協力を得て、具体的に書かれた地域要求について、現地調査に出向き、改善のために取り組んでいます。



歩道の電柱、なんとかして

神奈川区片倉の歩道の真ん中にある電柱。車いすはもちろんベビーカーも通れません。このような歩道は全市にあります。宇佐美さやが党神奈川区市政対策委員長は何とかならないものかと今後の対応を検討中です。



危ない踏切、早急に対応を

古谷やすひこ議員と木佐木ただまさ党鶴見区県政対策委員長は、昨年88歳の男性が亡くなった鶴見区の生見尾(うみお)踏切を調査。古谷議員らはJRや市と交渉を重ね、市は対策案を提示。現在、地元との調整が行われています。



こんな急斜面に住宅が?!

緑区武蔵中山台東電団地の急斜面の法面(のりめん)が転売され、非常に狭い面積のところにと宅地造成が進められようとしています。さっそく、大貫憲夫議員らは現地を調査するとともに、市に説明を求めました。



歩道橋の手すりが高すぎて使えない

「磯子駅前第2歩道橋の手すりが低すぎて、足の不自由な標準身長の人が使えない。もう一段上に手すりを追加してほしい」高橋やすあき党磯子区市政対策委員長は現地を調査し、市に改善を求めました。

市民アンケートへのご協力
ありがとうございます



鶴見川の土手にトイレを

鶴見川の土手でウォーキングやジョギングなど健康づくりをしている方が大勢います。白井まさ子議員は、水飲み場やトイレを整備してほしいという要望を港北土木事務所に伝え、実現するよう求めています。



買い物難民になってしまう!

金沢区ではスーパーの撤退などが続き、「買い物難民になってしまう」という不安の声が寄せられています。明石ゆきお党金沢区市政対策委員長は、地元の方々から事情をお聞きし、移動手段を含めて、安心して買い物ができるよう、市やスーパーと交渉や相談を行っています。



憲法破壊、集団的自衛権の行使容認「閣議決定」を撤回させよう!